

# CHARGE

## 国土交通省が「自動車エコ整備に関する調査検討会報告書」を発表

**1** 点検整備の実施により  
2%程度の燃費改善(CO<sub>2</sub>排出量削減)

**2** 整備事業場における  
CO<sub>2</sub>排出量削減のための  
取り組み定着が重要

### 上記の2つの側面から「CO<sub>2</sub>排出量削減効果」を検証

#### 1 点検整備の実施によるCO<sub>2</sub>排出量削減効果の検証

CO<sub>2</sub>排出量削減効果があると想定される定期点検整備項目について、試験車を用いて検証を行いました。

主な検証内容

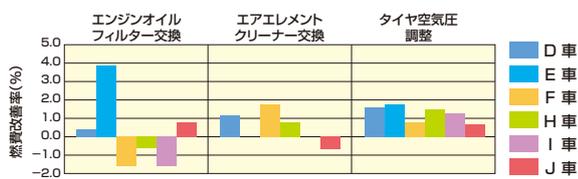
●試験車に点検整備①～③を実施し、燃費改善率を調査



- ①エンジンオイル及びフィルターを新品に交換
- ②エアエレメントクリーナーを新品に交換
- ③タイヤ空気圧を指定空気圧に調整

検証結果

●点検整備項目ごとの燃費改善率\*



平均燃料改善率約2%を実証

①～③の点検整備項目では、平均して約2%程度の燃費改善が確認され、CO<sub>2</sub>排出量削減効果もこれと同様と考えることができます。現在の定期点検実施率は約4割にとどまっているため、実施率を引き上げることで、CO<sub>2</sub>排出量削減に寄与できるとしています。

#### 2 整備事業場におけるCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みについて

すでに業界で呼びかけているCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みの実態について、業態別の7事業所においてヒアリング調査を行いました。

主な調査内容

●業態別の7事業所を対象に、CO<sub>2</sub>排出量削減対策の実態をヒアリング調査

- 対象事業所
- ディーラー …………… 2ヶ所
  - 専業(大規模・指定) …………… 2ヶ所
  - 専業(大規模・認証) …………… 1ヶ所
  - 専業(小規模・認証) …………… 1ヶ所
  - 車体整備 …………… 1ヶ所
- 計 7ヶ所

調査結果

●事業場ごとの総CO<sub>2</sub>排出量に占める整備機器の割合\*  
(単位:kg-CO<sub>2</sub>/年)

	ディーラー		専業(大規模)			専業(小規模)	車体整備
	A社(地方)	B社(首都圏)	C社(地方)	D社(首都圏)	E社(首都圏)	F社(地方)	
整備機器CO <sub>2</sub> 排出量総合計	25,363	9,522	13,221	23,956	3,777	4,399	49,265
エアコンプレッサー	10,940 (43%)	5,680 (60%)	7,450 (56%)	15,721 (66%)	2,020 (53%)	2,772 (63%)	12,832 (26%)
その他	14,423 (57%)	3,842 (40%)	5,771 (44%)	8,235 (34%)	1,757 (47%)	1,627 (37%)	36,433 (74%)

- ✓ CO<sub>2</sub>排出量はディーラーが多く、規模の大きさに比例して縮小
- ✓ 全事業所においてエアコンプレッサーの占める割合が高い

#### 自動車整備業界において今後積極的に実施されるべき項目

- ・CO<sub>2</sub>排出量の多い整備機器の日常的な省エネ対策
- ・省エネ型機器の積極的導入
- ・照明の間引きや不要設備の電源オフ
- ・ISO14001やエコアクション21など環境マネジメントシステムの有効活用
- ・改正省エネ法へ対応したエネルギー使用量の把握と削減対策
- ・VOC規制における自主的取り組みの推進

また今回のように、取り組みの実態を具体的に検証することで、実際に事業場のCO<sub>2</sub>排出量が削減され、光熱費の節約に繋がるという効果も確認されました。整備機器においては、特にエアコンプレッサーのCO<sub>2</sub>排出量の占める割合が多いことから、エア漏れ確認や定期点検の実施、未使用時のこまめな電源オフなど、日常的な取り組みが重要とされます。

他にも 次のような取り組みが推奨されています!

「自動車エコ整備」の実施は、  
環境保全への貢献とともに **点検・整備需要の掘り起こし** につながります。

点検・整備の実施が車両使用上の安全・安心に加えエコに繋がることを広くアピールし、実施率向上を図るとともに、整備事業場における環境対策の推進を通して、健全な経営へ結び付けていきましょう!

## 富山いすゞ自動車株式会社 呉西サービスセンター

いま注目!  
のショップ訪問

富山県射水市広上2000-36  
Tel. 0766-51-6111

富山いすゞ自動車株式会社呉西サービスセンターは、「高岡営業所」と「砺波営業所」を統合移転し、2009年12月新たにオープンした大型の整備工場です。富山いすゞ自動車株式会社の総社員は147名。呉西サービスセンターのスタッフは総勢37名で、内訳はメカニック15名、営業7名、サービス営業3名、部品販売4名、事務関連8名です。同センターの今年度(2010年4月～2011年3月)の新車販売目標は160台、サービス総入庫目標は5,800台。最新鋭の機器を導入してサービス力を強化した同センターでは、新天地でのスタートをきっかけに、お客様のCSをより一層高めていく方針です。



呉西サービスセンター長  
杉森 栄樹 様



工場長  
高桑 正夫 様

## トップレベルのサービス力を全面に打ち出した新鋭の大型工場

### ■広範囲のお客様をカバーするために能動的な営業活動を展開

センター長の杉森さんは、「厳しい情勢の中では総力で臨むしかない。各セクションが持っている情報を共有化し、それぞれが垣根を越えてコミュニケーションを密にしていこうと必要だと考えています」と話します。また、工場長の高桑さんが「従来、サービスに関してはあまり積極的なアプローチは行っていませんでした。今後は、営業・サービス、それぞれのスタッフがスクラムを組んで、能動的な提案活動を強化していかなければなりません」と語るように、「垣根を越えて」攻めの営業活動を展開していく方針です。そんな同社では、お客様に付加価値を提供する独自のサービスとして、専用トラックによる巡回サービスを行っています。お客様の急なトラブルにも柔軟に対応できるよう、コンプレッサーや発電機などの設備や、タイヤゲージなどの整備ツールまで完備し、幅広い作業に対応します。拠点統合によってカバーエリアが拡大した同社ならではの画期的なシステムといえます。



巡回サービストラックで、急なトラブルにも迅速に対応

### ■“全社員営業”を支える社員間のコミュニケーション

同社では、普段からスタッフ同士がコミュニケーションを育みやすい環境づくりを推進しています。事務所内はお互いの顔が見渡せる開放的で見通しの良いフロアになっており、活発に会話飛び交っていました。また、昼食は2階の食堂でスタッフ一同集まるとるよう徹底して



スタッフ同士の会話飛び交うワンフロアの事務所

いるとのこと。コミュニケーションを深めるこのようになちよとした心がけや行動が、スタッフ同士の連携を自然と高め、業務においても相乗効果を発揮する秘訣になっているようです。

### ■メカニックの作業効率を重視して、最善のレイアウトを構築

呉西サービスセンターの最大のアピールポイントは、新鋭機器の導入によって大きく底上げされたサービス力です。「メカニックの作業効率向上を第一に最善のレイアウトを考えた」と高桑工場長が話すように、徹底的にメカニックの効率化・省力化が図られた工場では、同時に美化も推進されており、クリーンで効率的な工場というコンセプトが見事に実現されています。整備工場内は、大型車用リフトが8ストール、乗用車用リフトが2ストール、そして塗装場、完成検査場、洗車場というレイアウトで、整備工場内の入口から出口まで一方向に通抜けができるようになっており、広い敷地を活用した最適な環境になっています。



工場内をクリーンに保つことがCS向上につながる

### ■高効率を生む“3分割フロアリフト”にメカニックからも最高の評価が

特に高評価をいただいたのは3分割タイプの“フロアリフト”です。「メカニックはそれぞれ作業内容も違えば、身長も違います。個々に高さ調節をしながら、同時に別々の作業ができることは時間短縮に大いに貢献していると思います」(高桑さん)。実際の作業では、前方のフロアでクラッチのオーバーホール、中央ではオイル交換、後方ではブレーキ調整作業をし、他にもミッション及びエンジンの脱着作業などに役立っているとのこと。また、安全性についても「フロアリフト」は車両のリフトアップが不要なので、安全性に優れていると思います。タイヤが床面に接地しているので安定感は抜群ですよ。作業にとりてそれはとても重要なことで、重量のあるバスや大型車の整備に最適だと思います」(高桑さん)。また、「フロアリフト」と組み合わせた“ピットリフト”について杉森さんは「“フロアリフト”の特性を活かすには、“ピットリフト”は必需品です。車軸まで外す作業なら2柱タイプ、片方のタイヤを外す程度なら1柱タイプと使い分けていますね」と語ってくださいました。新体制の下、決意も新たに歩みだした同社。スタッフの結束と集約された高い技術力が、サービス力向上の強力な一手となることでしょう。



3分割“フロアリフト”ではフロアごとに別々の作業が可能!

## ダイワ整備機工株式会社 本社工場

知りたい!  
元気のショップの秘密

札幌市東区東苗穂2条3-3-55  
Tel. 011-783-7887

ダイワ整備機工株式会社が設立されたのは1981年3月3日。来春で創立30周年を迎えます。同社は今回訪れた本社工場(札幌市)と恵庭工場(恵庭市)の2拠点(ともに指定工場)を保有し、総社員は60名。昨年(2009年4月～2010年3月)の本社における総入庫台数は約16,000台で、その内訳は一般整備・点検75%、車検25%の比率です。サービス売り上げ確保のため、保有母体を増やそうと車販に力を入れる整備工場が多い中で、同社はクルマの販売を行っていません。これは、整備のプロとしての「お客様第一主義」を徹底する、高橋社長の信念の表れでもあります。今回は、こうした「お客様のための整備」を実現する、ダイワ整備機工の取り組みについてご紹介します。



代表取締役社長  
高橋 啓 様



## 魅せる車検“クリアー25”でお客様の信頼を獲得

### ■お客様の身になって車検を考える

「車両を預かり、結果と一緒に引き返すだけの車検では、お客様に喜んでいただけない」。ダイワ整備機工はそう考えます。「私のモットーは、常にお客様の身になって考え、実行することです。検査や整備をお客様が望む通りにしっかり行うなら、お客様に喜んでいただき、信頼していただけるはず」。高橋社長は語ります。この経営理念を実現すべく、同社は2008年、道内初のスピード車検“クリアー25”を恵庭工場に採用。好評を得て翌年3月、本社工場にも導入しました。“クリアー25”は3人の作業員が3ステップで検査し、25分で完了する立会い車検。その最大の特長は、お客様の目の前でクルマを検査・説明することにより、車検内容に十分理解を得られることです。例えばブレーキパッドの検査なら、残厚数値をモニターに表示し、新品の見本と比較しながら状態を丁寧に説明します。これにより、お客様は本当に交換の必要があるかどうかを自分で判断でき、交換を見送った場合も安心してクルマに乗れるというわけです。検査員によるわかりやすい説明が、「車検とは何をしているのか」というお客様の疑問や不安を解消。文字通りクリアーで信頼できる車検として評価されています。

### ■検査結果のデータ管理がさらなる信頼を集める

“クリアー25”がお客様に支持される陰には、もう一つの理由があります。それは、検査結果がコンピューターによりデータ管理されること。トータル車検ラインシステム“ラインマスター”の機能により、測定値はもちろん、合否もその場でモニターに表示されます。測定値がわかって、お客

様はそれが安全か危険かの判断を下さませんが、機械で合否判定が示されれば一目瞭然です。これらの結果はカルテに自動でプリントアウトされ、車検終了後、検査員はこの診断カルテを基に詳しい説明を行います。「自分の目で確認した結果が印字されるので、お客様の信頼を得ることができる」と、高橋社長は話します。コンピューターで制御された最先端の車検が、検査員の説明をより信頼できるものになっているのです。

### ■“クリアー25”が実現させた「お客様が決める車検」

抜群の透明性と信頼性を誇る“クリアー25”。その導入は、お客様が「自分のクルマについて自分で判断する車検」を可能にしました。預けて受けとるだけの謎に包まれた車検と異なり、何を検査し、どこが問題で、どうすべきなのかを、お客様自身が認識できるようになったこと。それは、お客様目線にこだわるダイワ整備機工の理想でもあります。なぜなら、お客様が愛車の状態を理解してはじめて、お客様が本当に望むサービスが見えてくるからです。「お客様の考えを尊重することが大切です。車検をパスして、あと1年はもつブレーキパッドを、『今交換した方がいい』というのは本当の車検ではありません」。高橋社長がこう語るのも、お客様の立場に立っているからこそ。「我々がするのはアドバイスであり、決定はお客様がすることです。車検時に整備をしない場合、時期を捉えて必ず点検の案内をしています。お客様とクルマの安全のためですからね」。「お客様第一主義」という経営哲学を、“クリアー25”というサービスで体現したダイワ整備機工。そのあり方に、本当の車検整備とは何かを教えられました。



第1ステーションでの検査。液量の補充は無料サービス



フィルターやオイルなどは実際に取り出して状態を説明



第2ステーションと第3ステーション。スムーズに流れていく



検査結果がモニターに表示されるのでお客様も信頼できる



最後にカルテを見せながら詳しい説明とアドバイスを

## 新発売

# 圧倒的な使いやすさを誇る新ヘッドライトテスターがついに発売!

## 画像処理方式手動ヘッドライトテスター

### HLI-210

- 大型17インチ液晶モニターを見やすい本体上部に設置。チルト機構により角度調整が可能です。
- クロスレーザー採用で確実・カンタンなランプ正対。
- スクリーンモードとアジャストモードで特殊なランプもラクラク調整。

型 式	HLI-210
光 度 表 示	デジタル
本 体 寸 法 (mm)	W827 × D672 × H1730
標準レール寸法 (mm)	W420 × L4500

 現在生産されているクルマのヘッドランプは、すれ違いビームで調整されています。生産時と同じすれ違いビームでの測定を行いましょう。

すれ違いビーム  
Zビーム等の配光パターン  
HID、LED等の新光源  
対応!

ランプ追従が早い!



## 新発売

# シンプルで使いやすいヨーロッパタイヤチェンジャーが新登場!

## ヨーロッパタイヤチェンジャーHP

### HP441Q.20FI

- 10~20インチ対応。軽自動車からSUVまで幅広く整備できます。
- 2スピードモーター採用。作業に応じて低速・高速のスピード切り替えが可能です。
- オプションのデバイスを取り付けることにより、低扁平タイヤ、ランフラットタイヤもラクラク整備!

型 式	HP441Q.20FI	
適用ホイール(リム径)	インナーランプ (in)	12~22.5
	アウターランプ (in)	10~20
本 体 寸 法 (mm)	W978 × D1784 × H1826	



※写真はオプション搭載仕様

## 新発売

# 乾燥力と低騒音を両立する静音システムに待望の内蔵タイプが誕生!

## 洗車機内蔵型静音システム

### クリスタルイン

※写真はクリスタルイン内蔵カービスEXeco

- 場所を取らない洗車機内蔵型。本体設置スペース内に収まり省スペースです。
- インバーター制御によりブロワー起動時の不快な騒音を低減。さらにブロワー回転数を指定の時間帯で任意に設定することも可能です。

対象機種：カービスEXeco／ヴァンセル



低騒音

乾燥力をキープ  
洗車機内蔵型で  
省スペース!



### 保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。お近くの営業マンまでお問い合わせください。

### 24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス（ボイスワープ）対応をいたしております。営業時間外、および休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

### ANZENカスタマーサービス

☎ 0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。受付時間：月～金（AM9：00～PM5：00）

### ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp> ホームページ“ANZEN Web”ではANZENの最新情報を提供しています。